

生きがい通信

No.196

公益社団法人 習志野市シルバー人材センター

習志野市屋敷4-6-6 東部保健福祉センター内

TEL493-8011 FAX493-8040

URL:<http://www.sjc.ne.jp/narashino/> E-mail:narashino@sjc.ne.jp

令和6年3月31日現在

会員数:808名

男性628名 女性178名

未回答 2名

シルバー人材センター女性交流会『夢の輪』は 何時も春のように楽しく明るく暖かくそしてさわやか

さいた さいた チューリップの花が 並んだ 並んだ 赤白黄色 どの花見てもきれいだな(^ ^)♪



第88回(令和6年1月) ミュージックケアで癒されました



第89回(令和6年2月) 製作者に負けないくらい美しい守りびなを作りました

安全管理委員会の活動

～安全はすべてに優先する～

公益社団法人習志野市シルバー人材センター安全管理委員会は「安全管理委員会設置規則」に基づき、「会員の健康と安全に関する事項を検討し、その対策を推進する」ことを目的に、委員長をはじめ職群班(公共、企業、剪定、除草)より選出された委員4名と事務局長の計6名で構成されております。

主な活動としては年2回の会議と年2回の市内就業先の巡回指導を行っております。

当センターの近年の傷害事故発生傾向を見ますと、就業中の傷害事故では転倒による事故が多発しており、就業途上では、歩行中の転倒、自転車やバイクを運転しての転倒・激突事故など様々です。

近年、自転車運転時のヘルメットの着用が努力義務化されたことや自転車の保険加入が義務化されたこともあり、令和5年度の活動では「自転車」を大きなキーワードとして取り組み、巡回指導では、交通安全に関することを中心に啓発を行いました。

その一環として、安全意識の高揚と啓発をより一層図るため、当センター独自の安全標語を会員より募り、選ばれた作品を令和6年度の安全標語として掲げ、ホームページや機関誌などを通じて周知してまいります。



巡回指導(剪定班へ訪問)



巡回指導(鷺沼霊堂へ訪問)

<令和6年度安全標語>

ヘルメット あなたの命 守ります



私のシニアライフ

何時もの散歩コースが市の工事(長期)の関係で、変えざるを得なくなった。自分にとって心身ともに欠かせない途中でのティータイムには拘りがあり、新コースを検討中である。

最近、ある会員と雑談中、その方の「年歳としの事は考えないようにしている。気持ちが後ろ向きになるから」と聞かされ、私は参考にさせていただいている。

ウォーキングのほかに、20年以上続いている中学時代も同窓会幹事役と、遠慮なしで遊べる仲間とは、月1度、都内で麻雀を楽しんでいる。

可能であれば、後4、年続けられたらと思う。

いけない、また、年齢のことを考えてしまった。



花咲地区 関 博夫

令和6年度「事業計画」「収支予算」

第12回理事会(令和6年3月27日開催)において、令和6年度「事業計画」「収支予算」が承認されました。主な内容をご報告いたします。なお、詳細は6月21日(金)開催予定の定時総会議案書でご報告いたします。

【事業計画】

第三次中期基本計画(令和6年度～10年度)の初年度となる令和6年度は、この基本計画に掲げた課題解決や、目標達成に向け各種施策を計画いたしました。

重点施策には、「会員の拡大」「事業の拡大」に加え、「安全・適正就業」「組織運営」「経営健全化」「デジタル化の推進」の6項目を掲げました。特に「デジタル化の推進」は、秋ごろの施行が予定される「特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律」いわゆるフリーランス法施行後の事業運営の効率化や経費の削減など、「組織運営」や「経営健全化」においても効果的であることから重要な取り組みと位置付けました。

【収支予算】

令和6年度収支予算は、経常収益、経常費用とも4億7,574万4千円の収支均衡を満たした予算を策定しました。

① 経常収益(収入)

受託事業収益は4億3,985万1千円、労働者派遣事業等受託収益は351万6千円とし、令和5年度予算対比でいずれも減額となりました。受託事業では、公共部門では増収を見込んでいますが、民間部門でコロナ禍以降続く減収が続くものと見ています。

② 経常費用(支出)

想定収入の範囲内の支出に収まるよう、役員報酬、印刷製本費、賃借料、保険料、委託費などで大幅に予算を削減しました。



行事予定



入会説明会(定例月3回)

毎月第2・第3水曜日
午前9時30分～
毎月第2金曜日
午後1時30分～
シルバー人材センター会議室

出張入会説明会(不定期)

令和6年5月17日(金)
午後2時～
『新習志野公民館2F多目的室』
令和6年6月6日(木)
午後2時～
『プラッツ習志野北館1階集会所2』

就業相談(予約制、会員限定)

毎月第2・第3水曜日
午後1時～(30分単位)
シルバー人材センター会議室

刃物研ぎ作業

毎月5日、12日、20日
午前9時～
袖ヶ浦作業所
毎月第4木曜日 午前9時～
シルバー人材センター会議室

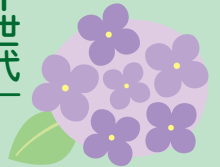
令和6年度定時総会

令和6年6月21日(金)
午前10時～
『プラッツ習志野市民ホール』

(事務局)

コラム

「期待される人材、 シルバー世代」



習志野市は「未来のために」みんながやさしさでつながるまち「習志野」を目指す。べき都市像に掲げており、やさしさで支え合うあらゆる施策に注力しています。一昨年、設立40周年を迎えた「公益社団法人習志野市シルバー人材センター」(以下「センター」)もその一翼を担い、会員約850人が地域社会や事業会社などで知恵や知識を活かして活動しています。

少子高齢の今日、多様なニーズに応えるきめ細かなすき間をつめる経験を伴う就業、いわゆる担い手不足を埋めるセンターの存在が注目されつつあり、個人の単独活動では得られない会員だからこそそのメリットを手にするのができます。それは、小遣い程の配分金業務

報酬に加え、認知症発祥リスクの抑制にもつながるからです。「友人づくりと交流」「地域の活動参加」「就労」などがそのリスクを46%減らせるという調査からも明らかです(国立長寿医療研究センター・愛知県大府市)。社会的に孤立していない人の方が発症リスクが低いと言えます。例えば、身体を動かす業務や外出は、人との交流から挨拶機会が増え、身なりを整えるなど日常への刺激から心身にいい影響が表れるそうです。中には、就業に向けお酒をひかえるという人もいます。

センターは高齢者(概ね60歳以上)にふさわしい仕事を企業・家庭・公共団体等から引き受け、会員に提供する千葉県知事許可の公益法人です。会員の要件は健康で働く意欲のある人で、働くことで地域社会の一員となり公共の福祉に関わることもできます。センターが敬われ社会の人材の宝庫となるためにも個人個人の自律が大事です。健やかな健康寿命を手にししましょう。

編集後記

「終活」という言葉をよく耳にしますが、「老活」という言葉をご存知ですか。「老活」とは、素晴らしい老後が過ごせるための活動で、ポイントが5つあるそうです。

- ①新しいことを学び、感動すること。
- ②機嫌よく過ごすこと。
- ③もっと良くするためにどうしたらよいか、工夫すること。
- ④心と体が健康であること。
- ⑤いろいろな人と交流すること。

こんなにたくさんできないという人に、もう一つ選択肢があります。

それは「働く」ということです。若い人のようにフルタイムは働きませんが、ほんの少しの時間、社会とつながって、人の役に立つことができるかもしれません。働けば、周りの人から感謝されるし、体を動かすことで健康にもつながります。人は感謝されることで、最も幸せを感じると言われています。

幸せな老後へ一歩踏み出してみませんか。

広報部会

お花見会

令和6年3月31日(日)総務部会主催の会員交流事業「お花見会」が鷺沼城址公園で開催されました。今年は例年に比べて桜の開花が遅くまばらでしたが、夏日も思える暖かさで、会員、役職員20名が交流されました。

